

---

## 国際証券業協会会議（ICSA）第21回年次総会等について

---

平成 20 年 6 月 8 ~ 11 日

---

去る 6 月 8 日から 10 日までの間、国際証券業協会会議（ICSA）第 21 回年次総会が韓国証券業協会（KSDA）の主催で韓国 ソウルにおいて開催された。また、11 日には同じく KSDA の主催で国際セミナーが開催された。

国際証券業協会会議（ICSA：International Council of Securities Associations）は、国際証券市場における取引慣行及び規則の調和を図り、メンバー間の情報交換及び理解を促進し、国際証券市場の健全な発展に寄与することを目的に、1988 年、本協会の提唱により設立された。現在の会員数は 14 ヶ国（地域）15 団体である。

本年次総会には、別紙 1 のとおり、メンバー団体、オブザーバー団体から約 50 名の参加があった。

本年次総会等の議事は以下のとおりである。

---

### ・ I C S A 年次総会

#### 1．主催者及び主催国からの挨拶、講演

主催者である韓国証券業協会（KSDA）の Kun Ho Hwang 会長からの開会挨拶の後、韓国金融監督委員会 Kwang-Woo Jun 委員長から韓国の金融市場の動向、昨年制定された資本市場及び金融投資サービス法の下での規制・監督の方針について講演があった。

#### 2．自主規制の役割と発展

ハーバード大学客員教授（米国 NASD（現 FINRA）前会長）Robert Glauber 氏から、米国における自主規制の発展とそのメリット、業界の意向と公共の要請が相反する場合の対応、協会と取引所その他の自主規制機関による二重規制への対処、自主規制が機能せず過剰な政府の規制を招いてしまった例（2002 年 SOX 法）等につき講演が行われた。

また、ICSA のベター・レギュレーション WG の議長である英国 L I B A 理事 Samantha Barrass 氏から、規制を導入する前に行うべき「市場の失敗」の検証、分析のあり方について、ポリシー・ペーパーをまとめたこと等が報告された。

その他、各国の自主規制機関の特徴、組織、機能について、パネル・ディスカッションが行われ、本協会からは、自主規制に関する最近の取組みについて、松川常務執行役が

報告を行った。

### 3. 資本市場の育成と競争

企画財政省 国際担当副大臣 Je-Yoon Shin 氏から、アジア太平洋地域の金融ハブを目指し、戦略セクターとして金融業を育成する韓国の取組みが紹介された。

また、ハーバード大学客員教授 Robert Glauber 氏、McKinsey& Company, Asia 会長 Dominic Barton 氏がリード・スピーカーとなり、世界の金融市場におけるアジア太平洋地域の位置づけ、各金融センターの課題と今後の成長見通し等が議論された。

さらに、「2008～2009年の主な取組み」と題するセッションにおいて、ICS Aの主要メンバーが各団体の業界団体としての最近の取組みを紹介した。本協会からは安東会長が、税制改正要望及びその成果、さらに今後の本協会の提言活動方針について紹介した。

### 4. その他の諸問題

#### 1) 信用危機：世界の金融市場への教訓

S & P社チーフエコノミストの David A. Wyss 氏、IMF 通貨資本市場局審議役 W. Todd Groome 氏がパネリストとなり、サブプライム問題が引き起こした信用危機の背景、再発防止への課題（証券化商品に関するリスク管理の強化（特に流動性リスクについて）、透明性の向上、格付け機関のガバナンス・格付けプロセスの見直し等）が議論された。

#### 2) 政府系ファンドの金融市場への影響

3兆ドルもの資産を運用し、さらに急速な拡大が見込まれる政府系ファンドについて、韓国証券研究所所長 Hyung-Tae Kim 氏が、これらファンドの拡大の背景、保有資産と運用方針の特徴、金融市場に与える影響についての分析を紹介した。

#### 3) 地球温暖化への対応（排出量取引）

オーストラリア政府気候変動省次官 Blair Comley 氏が、現在欧州が先行している排出量取引の仕組み、その利点と課題について紹介し、温暖化への対応における環境税との優劣等が議論された。

#### 4) マーケット・プロフェッショナルに関するWGからの報告

現在、ICS Aのマーケット・プロフェッショナルWGでは、各国市場における外務員等証券ビジネス従事者の資格認定・試験制度につき調査し、資質として求められる知識の共通部分を国際基準として定め、それを満たした外務員等が別の市場で業務を行う際、試験等を免除することを提言しようとしており、ICS A事務局長

が同WGの検討状況を報告するとともに、各国の資格認定・試験制度（含・日本）の概要を紹介した。

## 5. 次回総会

次回年次総会は、米国証券業金融市場協会（SIFMA）が主催し、米国で開催することがアナウンスされた。（開催時期、開催都市は未定。）

## ・ KSDA主催国際セミナー

### 1. 世界の金融情勢及び金融市場の安定性

S & P社チーフエコノミスト David A. Wyss 氏、IMF通貨資本市場局審議役 W. Todd Groome 氏らがパネリストとなり、サブプライム問題の今後の見通し、米国経済の景気後退懸念、金融市場の安定化を図る方策等が議論された。

### 2. 資本市場と戦略セクターとしての金融業

国際資本市場協会（ICMA）代表理事 René Karsenti 氏、韓国証券研究所 所長 Hyoung-Tae Kim 氏、ハーバード大客員教授 Robert Glauber 氏、本協会安東会長、マッコーリーグループ韓国会長 John Walker 氏がパネリストとなり、資本市場と金融業を戦略セクターとして発展、育成していくための各国、各地域における取組みにつき議論した。安東会長からは、金融庁の競争力強化プラン、及び本協会「今後の金融・資本市場のあり方を考える懇談会」の提言にもとづく取組みについて紹介した。



国際証券業協会会議 (ICSA) 第21回年次総会参加団体

1. ICSAメンバー

米国	証券業金融市場協会(SIFMA) (今回欠席)
カナダ	カナダ投資業規制機構(IIROC)
	カナダ投資業協会(IIAC)
英国	ロンドン投資銀行協会(LIBA)
スイス	国際資本市場協会(ICMA)
フランス	フランス投資会社協会(AFEI)
イタリア	イタリア金融仲介業者協会(ASSOSIM)
スウェーデン	スウェーデン証券業協会(SSDA)
デンマーク	デンマーク証券業協会(DSDA)
南アフリカ	南アフリカ債券取引所(BESA) (今回欠席)
韓国	韓国証券業協会(KSDA)
台湾	中国台湾証券商業同業公会(CTSA)
豪州	豪州金融市場協会(AFMA)
トルコ	トルコ資本市場仲介業協会(TSPKAB)
日本	日本証券業協会(JSDA)

(13団体、30名)

2. オブザーバー

米国	金融取引業規制機構(FINRA)
メキシコ	メキシコ証券業協会(AMIB)
ドイツ	ドイツ証券取引所参加者協会(BWF)
中国	中国証券業協会(SAC)
インド	インド証券取引所参加者協会(ANMI)
ウズベキスタン	ウズベキスタン証券市場参加者協会(NAUR)
国際機関	国際スワップ・デリバティブ協会(ISDA)

(7団体、11名)

(この他、各国政府職員、在ソウル各国大使館員も若干名オブザーバーとして参加。)

以 上